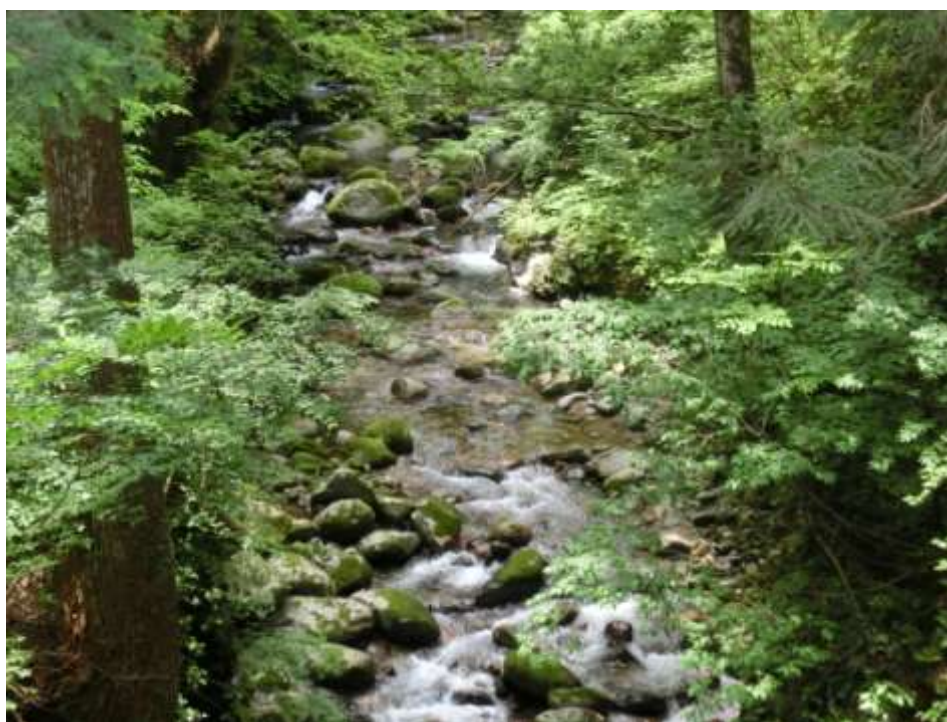


平成26年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



平成27年7月  
郡上市役所農林水産部林務課

## 【 目次 】

はじめに	……………	P 1
I. 平成 26 年度の総括	……………	P 6
II. 基本的施策ごとの実施状況	……………	P 8
1. 災害に強い山づくり		
2. 多様性のある山づくり		
3. 快適な森林空間づくり		
4. 木材資源の循環		
5. 森林資源の利用促進		
6. 山を支える人づくり		
7. 地域を支える人づくり		
8. 林業を支える人づくり		
■ 資料 郡上市の森林・林業	……………	P 19

## はじめに

郡上市では、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

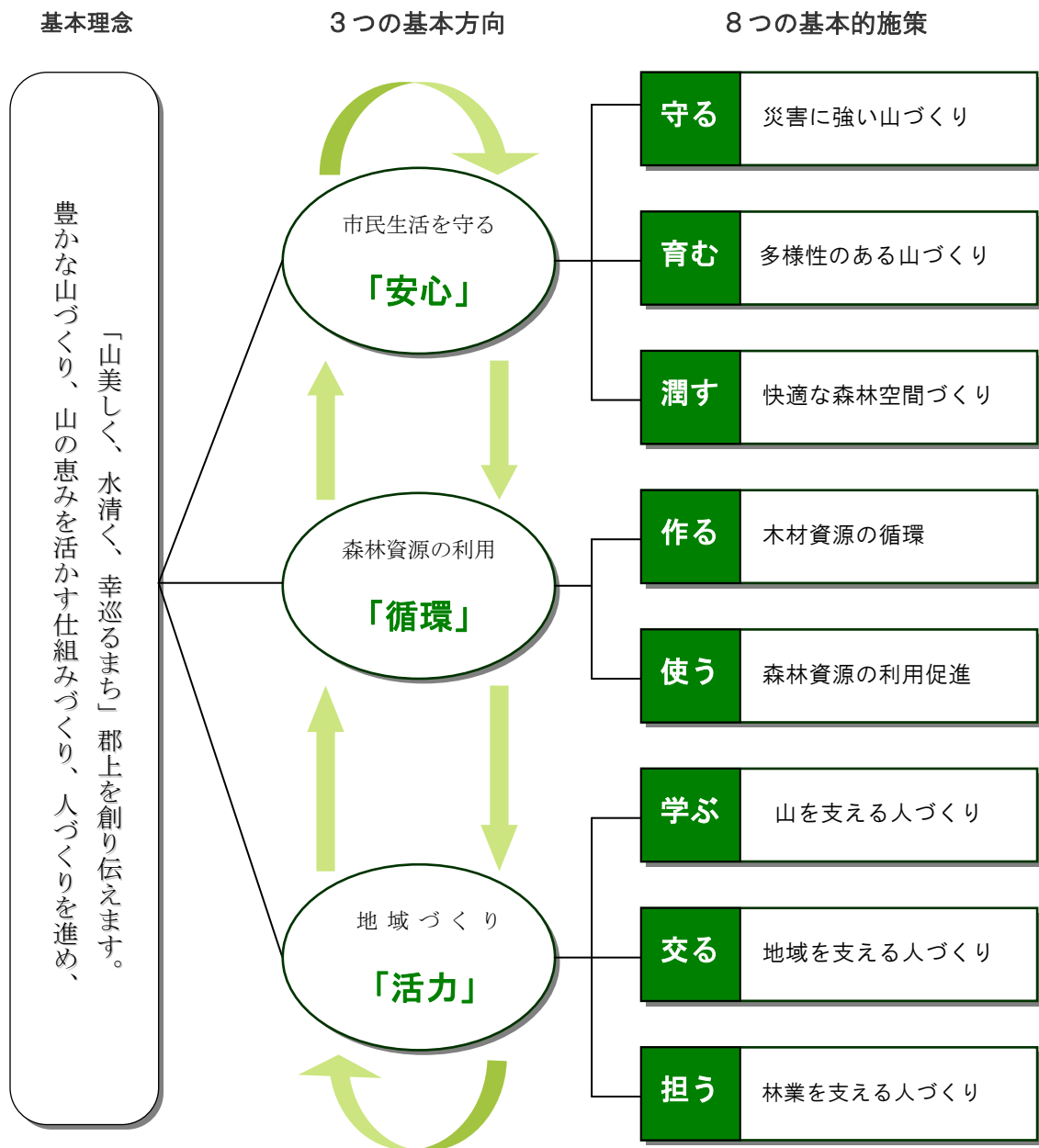
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

平成26年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



## ● 『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

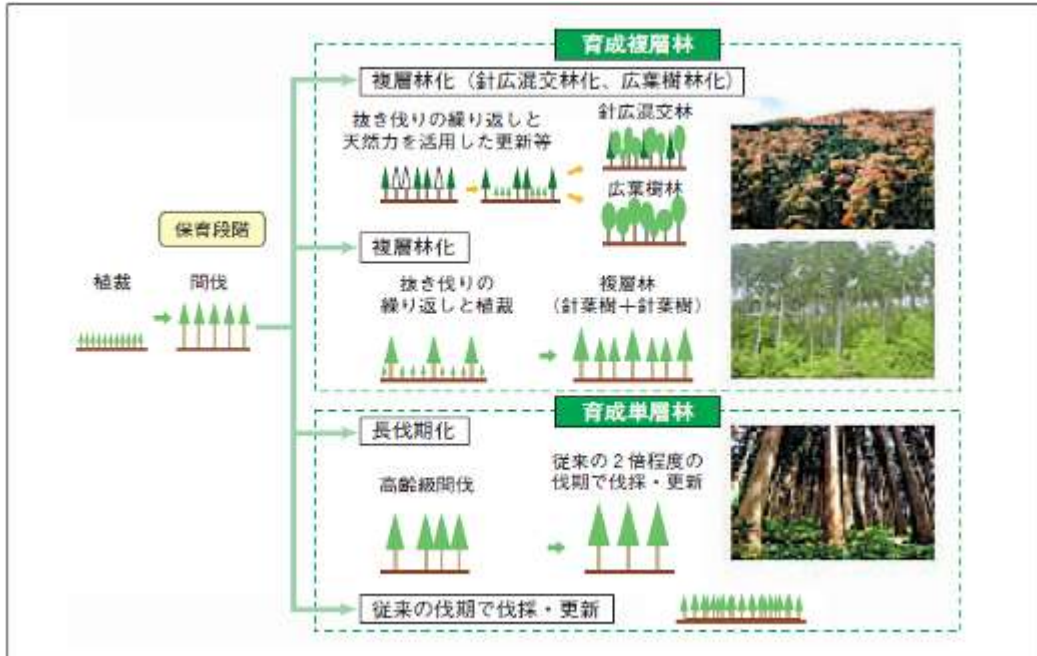
### < 施策体系 >



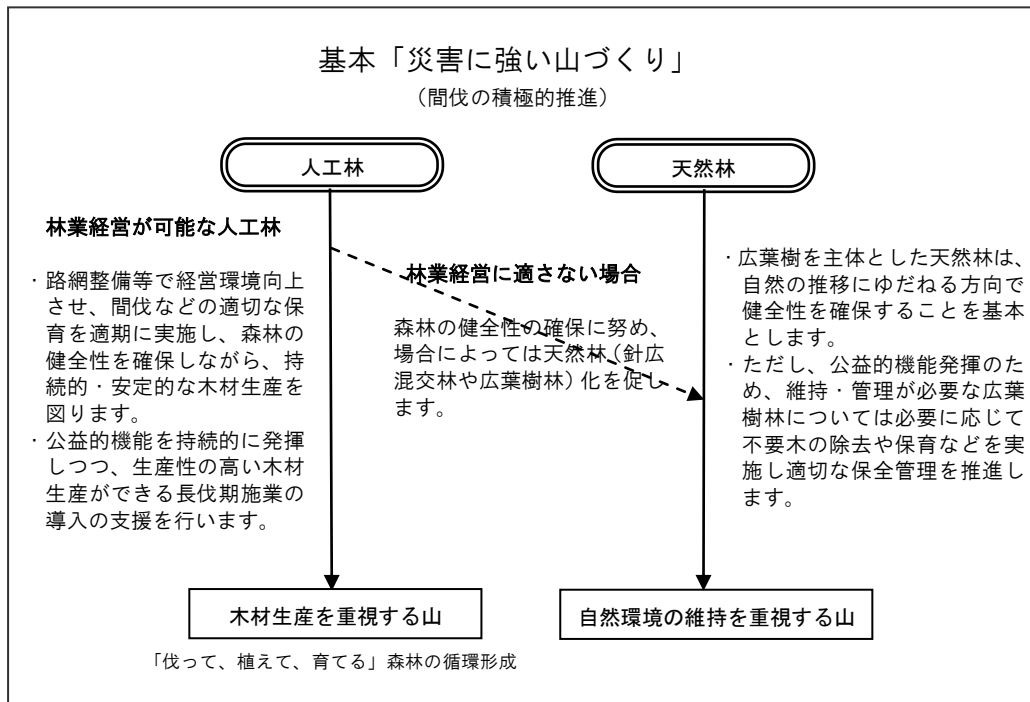
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

## ●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



## ●森林整備の基本方向





## I. 平成 26 年度の総括

平成26年度は、国において「農林水産業・地域の活力創造プラン」が改定されるとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が決定されました。

森林・林業については、これらの中で、豊富な森林資源を循環利用し、森林の持つ多面的機能の維持・向上を図りつつ、林業の成長産業化を実現し、人口減少が進展する山村地域に産業と雇用を生み出すこととされています。

市ではこうした中、伐期を迎えた人工林資源の有効活用と、森林整備を併せた公益的機能の維持・増進を図る必要があることから、大型製材工場への整備支援や木質バイオマスエネルギーによる地産地消システムの普及モデルとして明宝温泉湯星館に木質ボイラーの設置、大和中学校などにおける公共施設の木質化・木造化など、持続的・安定的な木材生産体制づくりと地域木材の活用促進の取り組みに努めました。また、清流の国ぎふ森林・環境税を活用しながら、里山林整備事業、環境保全林整備事業などの森林整備や、野生生物保護管理事業によるニホンジカ捕獲推進事業など有害鳥獣対策による農林業被害の低減にも努めました。

そのほか、引き続き木の駅プロジェクトへの活動支援や、薪ストーブ購入や郡上市産材住宅建設への補助、地域木材の活用促進の取り組みを積極的に進め、さらに、人材育成事業による森林・林業の担い手の育成やみどりの祭りなどのイベントを開催して、森林の大切さの普及・啓発に努めました。

### ①大型製材工場（長良川木材事業協同組合） の整備支援

・平成 26 年度において補助事業による工場整備がほぼ完成、自社による機械整備や試験操業、職員研修など行い、平成 27 年 9 月頃から本格稼働予定です。



### ②木質バイオマスエネルギー利用促進

・木質バイオマスエネルギーの地産地消システムの普及モデルとして、明宝温泉湯星館に木質ボイラーを設置しました。

チップボイラー 400 k w

薪ボイラー 170 k w



### ③公共施設の木質化・木造化の推進

・公共施設の木質化・木造化を図りました。

■大和中学校

■白鳥地域特産物振興センター

■郡上市役所 和良庁舎（H27 完成予定）



#### ④郡上市皆伐施業ガイドラインの周知

・持続的・安定的な木材生産体制づくりと公益的機能の維持・増進を図るため、森林の皆伐を行う際の留意事項をまとめた「郡上市皆伐施業ガイドライン」を関係者に周知し、伐採届提出時には個別に指導を行いました。



#### ⑤郡上市素材生産技術協議会研修会の開催

・素材生産に関わる事業者が連携して、素材生産技術や知識の向上、情報交流を行い、安全や環境に配慮した持続的な木材生産体制の強化・推進を図るため、平成26年度に郡上市素材生産技術協議会が設立。制度勉強会や研修会を行いました。



#### ⑥ニホンジカ対策の推進

・森林・環境基金事業等により、年間4,081頭のシカが捕獲されました。また、26年度から「郡上市鳥獣被害対策実施隊」を設置しました。



#### ⑦里山の保全

・地域住民による里山林等の保全管理や森林資源の利活用を実施していく体制づくりの支援として、森林山村多面的機能発揮対策事業を実施しました。

この事業を活用し、市内8団体が約65haの里山を整備しました。



#### ⑧森林経営計画の作成推進

・26年度までに、117件、17,272haの森林経営計画が認定されました。また、森林経営計画制度の見直しが行われ、26年度から従来の属地・属人計画に加え、市の森林整備計画に定められた区域内において、30ha以上の森林を対象に森林経営計画を作成できるよう措置されました。



## Ⅱ. 基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

### 守る

### 1. 災害に強い山づくり

#### ① 間伐の積極的推進

##### ■ 間伐の推進

平成26年度の郡上市全体の間伐面積は1,103haで、その内の466haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。間伐面積が前年度と比べ減少した主な原因としては、早い時期に大雪が降雪したことが考えられます。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業を利用して122haの切捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績	単位：ha			
年度	H23	H24	H25	H26
間伐	2,629	1,976	1,435	1,103
うち利用間伐	524	568	654	575
うち補助対象面積	1,403	851	535	466

※伐採届、補助実績より



間伐状況（大和町古道地内）

##### ■ 森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。（造林推進事業）

施業	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績
植林	16.07ha	18.29ha	12.12ha	13.32ha
下刈り	72.68ha	81.61ha	79.51ha	96.60ha
雪起し	28.52ha	46.83ha	51.45ha	65.86ha
除伐	59.24ha	27.84ha	8.23ha	12.45ha
枝打ち	58.33ha	48.74ha	2.57ha	24.60ha



植栽状況（大和町栗巢地内）



## ② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

### ■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、26年度は219件の伐採届（森林法第10条、15条）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

### ■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生状況調査のため、8月から10月にかけて県・市担当者が市内5地域、10箇所の皆伐跡地を調査しました。



## ③ 保安林と治山事業

### ■ 保安林

保安林内間伐届出書を81件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

### ■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所の早期復旧のため、災害発生から概ね3年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など25箇所が施工されました。



治山事業実施状況

事業名	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績
復旧治山事業	6 箇所	7 箇所	8 箇所	4 箇所
予防治山事業	10 箇所	13 箇所	20 箇所	8 箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	2 箇所	2 箇所	3 箇所	2 箇所
東海北陸自動車道土砂流出対策事業	- 箇所	4 箇所	- 箇所	- 箇所
県単治山事業	5 箇所	9 箇所	3 箇所	8 箇所
集落環境保全整備事業	2 箇所	2 箇所	1 箇所	3 箇所
	25 箇所	37 箇所	35 箇所	25 箇所

## ① 森林整備の考え方

## ■ 森林経営計画制度の開始

平成 26 年度までに、117 件、17,272ha の森林経営計画が認定されました。

また、森林整備地域活動支援交付金事業等により、森林経営計画の作成や間伐等の施業の促進について支援しました。(森林整備地域活動支援交付金事業)

経営計画実績

	H24	H25	H26
認定件数	43 件	46 件	28 件
面積	8,142 ha	6,132ha	2,998ha



打ち合わせの様子

森林整備地域活動支援交付金事業実績

	H23	H24	H25	H26
協定数	17 件	10 件	1 件	6 件
対象森林面積	29,775 ha	16,581ha	56ha	6,415ha

打ち合わせの様子

## ② 森林情報の整備

## ■ 所有者届出制度の運用

森林法の改正により、平成 24 年 4 月以降、森林の土地の所有者となった方については市への事後届出が義務付けられました。

平成 26 年度は 159 件の届出を受理しました。

	H24	H25	H26
届出件数	101 件	204 件	159 件

## ■ 境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため 2 件 309ha の境界明確化を行いました。

	H23	H24	H25	H26
境界明確化実施面積	177ha	24 ha	274ha	309ha

## ① 居住地周辺の山の保全

## ■ 居住地周辺の整備

## 【森林山村多面的機能発揮対策事業】

25年度に創設されたこの事業を5地域8団体が活用し、約65haの里山整備を行いました。この事業は地域住民が中心となった民間協働組織が実施する里山林等の保全管理等の取組に対して、一定の費用を国が助成するもので、森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、地域力の向上を通じ市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。

## 実績

	H25	H26
活動団体	7団体	8団体
対象面積	20.1ha	64.98ha
活動内容	下刈・雑木の伐採及び集積・作業路の作設及び補修・鳥獣捕獲檻の設置及び管理など	



整備実施状況（明宝地内）

## 【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない居住地周辺の森林整備に対し8件、1.76haに助成を行い森林の育成や保全を図りました。申請者が間伐や竹林整備を実施したことにより、林内は明るくなり周囲の景観が改善されました。

## 小規模森林整備事業 実績

内容	H23	H24	H25	H26
申請件数	18件	8件	9件	8件
雪起し・植栽 間伐・下刈り	7.9ha	5.3ha	3.5ha	1.76ha



雪起し状況（高鷲地内）

## ■ 苗木植栽への支援

面積が小規模であることなどから国・県の補助事業の対象とならない公共用地等の緑化に対して、緑の募金事業を活用して6件の緑化事業のために必要な苗木の配布支援を行いました。



植栽状況（八幡地内）

## ② 鳥獣害対策

### ■ 鳥獣害対策の推進

#### 【郡上市鳥獣被害対策実施隊の設置】

平成26年度から鳥獣による農林水産業等への被害を防止するため、「郡上市鳥獣被害対策実施隊」(255人)を設置しました。



撮影された野生動物(高鷲町)

#### 【捕獲対策】

ニホンジカが増えすぎて被害が多発しているため、森林・環境税を活用して、狩猟中にニホンジカの個体数調整を実施しました。また、その他の有害鳥獣については、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業奨励金を交付して被害対策に努めました。結果、年間で5,596頭(羽)の有害鳥獣が捕獲されました。

また、わな補助者の制度を活用し、免許所持者を中心に集落単位での有害鳥獣捕獲体制づくりを推進しました。

#### 有害鳥獣年間捕獲数

内容	H23	H24	H25	H26
イノシシ	230頭	459頭	500頭	1,058頭
シカ	1,370頭	1,577頭	1,741頭	4,081頭
サル	182頭	245頭	161頭	304頭
カラス	59羽	143羽	195羽	124羽
カワウ	-	-	14羽	8羽
クマ	0頭	0頭	0頭	21頭
合計	1,841頭 (羽)	2,424頭 (羽)	2,611頭 (羽)	5,596頭 (羽)

#### 【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業や、狩猟鳥獣を食材にするジビエの取り組みなどが進められました。

(郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業)

地域別被害額(農作物)

(単位:千円)

地区名	H23	H24	H25	H26
八幡	11,045	16,415	13,222	14,437
大和	6,659	6,991	10,100	9,548
白鳥	4,086	4,472	4,280	4,301
高鷲	3,668	4,968	6,082	6,881
美並	4,594	11,215	5,971	4,150
明宝	5,671	10,204	10,910	4,786
和良	2,357	13,189	7,537	4,025
計	38,080	67,454	58,102	48,128



ジビエフェアの開催

### ③ 利用の促進

#### ■ 「城山公園（高鷲）」、「音楽の森（明宝）」の改修

市民と森林のふれあいの場である高鷲町の城山公園、明宝の音楽の森の遊歩道などにおいて一部老朽化が進み、安全面での機能が低下している個所がみられたため、森林環境税「里山林整備事業」を活用して遊歩道や休憩施設等の施設改修を実施しました。

（森林・環境基金事業）



音楽の森（明宝）遊歩道

作る

## 4. 木材資源の循環

### ① 団地化の推進と機械化

#### ■ 地域展開型森づくりプロジェクトの取り組み

平成 24 年度、26 年度に郡上地域森づくり協議会により、白鳥町阿多岐地域において、平成 25 年度から郡上森林組合が大和町古道地域において、「地域展開型森林づくりプロジェクト（通称：地域森プロ）」の認定を受け、郡上地域のモデルとなる効率的な木材生産に取り組んでいます。



搬出の状況（阿多岐地内）

#### ■ 高性能林業機械等の導入

26 年度には、2 事業者がグラップル付きトラックを購入し、1 事業者がグラップル 1 台を購入し、効率的な森林施業の体制を整備しました。

（木材加工流通施設等整備加速事業・林業木材産業改善資金）

高性能林業機械の保有状況（26 年度末現在）

プロセッサ	ハーベスタ	タリヤーダ	スイングヤーダ	計
10 台	4 台	1 台	11 台	26 台



プロセッサ



## ② 路網の整備

### ■ 林内路網の整備

林道を 1,868m開設するとともに、作業路の開設は、事業者が行う加速化事業分も含めると 64 路線 28,129mが開設されました。

内容	H23	H24	H25	H26
林道の開設	2,299m	6,610m	1,618m	1,878m
作業路の開設	54 路線 20,937m	35 路線 13,167m	54 路線 21,477m	64 路線 28,129m
林内路網密度	23.1m/ha	23.3m/ha	23.6m/ha	23.9m/ha

使う

## 5. 森林資源の利用促進

### ① 加工・流通体制の整備、商品の開発

#### ■ 大型製材工場の整備

大型製材工場の用地取得や施設整備について支援を行いました。27 年度に本格稼働を開始し、これにより木材の利用拡大が期待されます。



長良川木材事業協同組合

### ② 公共施設の木造化、木質化の推進

#### ■ 木造化の推進

市立大和中学校が、老朽化と耐震性の確保のため改築され、郡上市産材をふんだんに使用した木造校舎として完成しました。

(森林・環境基金事業・25 年度繰り越し)



大和中学校

### ③ 木造建築の促進

#### ■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を 80%以上使って新築する場合などに 10~50 万円の奨励金を交付するもので 54 件に交付しました。

(郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業)

内容	H23	H24	H25	H26
交付件数	42件	50件	52件	54件
郡上市産材 80%以上使用	80%	88%	83%	80%
新規定住につながったもの	47%	42%	31%	46%



郡上市産材住宅（白鳥町）

#### ④ 森林資源の利活用促進

##### ■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

明宝地域において、地域内の森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムの構築を目指し、明宝温泉湯星館に木質ボイラーを導入しました。



##### ■ 薪ストーブ購入補助制度の活用

23年度から開始した薪ストーブ購入補助制度で26年度の申請交付件数は36件ありました（うちペレットストーブ14台）。25年3月から事業施設（農業用施設・作業所等）も交付対象としています。（森林資源活用事業）

	H23	H24	H25	H26
申請交付件数	44件	40件	37件	36件

※本体価格が20万円以上のストーブを対象とし、本体価格の3分の1（上限10万円）を助成

##### ■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的として実施されている『木の駅プロジェクト』は、26年度は4団体となりました。（森林・環境基金事業）

団体別搬出量 (単位：t)

団体名	H24	H25	H26
白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会	26.4	13.6	3.8
たかす木の駅会議	43.9	147.7	198.4
小川里山クラブ	—	63.5	59.2
口明方木の駅実行委員会	—	—	20.0
計	70.3	224.8	281.4



たかす木の駅会議

### ① 学校教育との連携

#### ■ 森林環境教育の推進

市内6つのみどりの少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。

また、林業グループ、林業普及指導員、市職員が林業体験や森林教室を行いました。



林業体験（高鷲町）

### ② 市民への普及・啓発

#### ■ みどりと水郡上ふれあいフェスタ開催

やまと総合センターで森林・水・環境について考える『みどりと水郡上ふれあいフェスタ』を開催しました。会場では、木材を利用したクラフト体験や植樹・薪割り体験などが実施され、市民が緑に親しみました。



記念植樹（大和町）

#### ■ 森の通信簿事業

簡単な調査手法により森や川を点数評価し、森林の健全度を理解する「森の通信簿」の事業が明宝地区で行われました。



実施状況

### ③ 林業グループ等団体の育成、強化

#### ■ 林業グループの育成、強化

市内で活動する林業グループへ助成金を交付して、活動の支援を行いました。また、各林業グループの活動や会議等に参加し情報や課題を共有しました。

（林業グループ活動育成等事業）



活動の様子

## ① 地域座談会の開催

### ■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催しました。26年度は、ゾーニング、獣害対策、木質バイオマス利用について検討し、市長への提言を行いました。



森林づくり推進会議

## ② 下流域との交流の促進

### ■ 企業の森・上下流連携

平成20年に締結された県、市、ブラザー工業の3者協定に基づく企業の森活動を推進しました。この活動は、環境保全活動に関心の高い企業に市内森林において地域住民とともに森林保全活動に参画・貢献してもらうものです。



ブラザーの森植樹

### ■ 長良川源流の森育成事業

郡上漁協主催のもと、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水源涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、大和町古道地内において広葉樹の植樹を行いました。26年度で5回目となり、180名の方が参加されました。

## ③ 地域資源を生かした交流

### ■ 東京都港区との交流

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか76自治体）の首長が集い、みなと森と水サミット2015が東京都港区で開催されました。

郡上市においては、郡上市産材を使用した製品の普及を目的として、18事業者がuni4mに登録しています。

① 雇用環境改善への支援

■ 市産材製品支援

市産材を使用した木製品の普及促進を目的として、2事業体に対し、4名の雇用支援を行いました。

■ 郡上の山ぬし自力間伐講座の開催

森林所有者を対象に、間伐の理論とチェーンソーを使った安全作業の講習会が開催されました。これは森林・環境税を活用した「木の駅プロジェクト」の一環で、受講者はチェーンソーの使い方などの講義を受け、市有林で実習を行いました。



間伐講習の様子

② 森林技術者の育成と技術の継承

■ 人材育成研修への参加・支援

林業に関する担い手の育成のため、県内で各研修が行われました。施業プランナー研修は26年度までに市内5つの林業事業体から13名が受講されました。その他、26年度は、フォレストワーカー研修に11名が受講されました。

市では、7事業体及び1高等学校の延べ302名に対し、研修費用を助成し専門的な知識及び技術習得を支援しました。(森林・林業人材育成事業)

■ 農林水産祭天皇杯受賞【林産部門】

農林水産祭は毎年11月23日(勤労感謝の日)に、優秀な功績を残した農林水産業者を表彰するものです。特に功績のあった最優秀者として、市内の山川氏が天皇杯を受賞されました。



受賞者の市長面談

■ 緑化功労者表彰

緑化活動に長年貢献したことが認められ、郡上市から4名、1団体が表彰を受けられました。

緑化功労者	
(公社)国土緑化推進機構理事長感謝状	1個人
岐阜県緑化功労者表彰「知事表彰」	1団体
岐阜県緑化功労者表彰「会長表彰」	3個人



## ■ 資料 郡上市の森林・林業

1. 森林の概況
2. 間伐実施状況
3. 県内他市町村との比較

## 1. 森林の概況

- 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1
- 森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2
- 民有林人工林の蓄積量は 15,816 千 $m^3$ で資源が充実 ※表 3
- 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い
  - 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
  - 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
  - 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度
- 人工林の 84.6%が間伐対象林分 (3~12 齢級=11~60 年生) ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,079	92,456	1,739	8,884	89.7%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	82,042 (88.8)	7,891 (8.5)	2,523 (2.7)	92,456 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 $m^3$

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	12,342 (57.7)	3,474 (16.2)	15,816 (73.9)	5,586 (26.1)	21,402 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1~2	3~7	8~9	10~12	13~	合計
面積 (割合%)	177 (0.4)	10,270 (20.6)	13,573 (27.3)	18,263 (36.7)	7,465 (15.0)	49,748 (100.0)

## 2. 間伐実施状況

○ 26年度は、約1,100haの間伐を実施

○ 郡上市は県全体間伐実施量の約13%を実施

間伐実績

単位：ha

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
郡上市	3,456	3,236	3,023	3,093	3,078	2,630	1,976	1,435	1,103
県全体	15,836	14,559	14,428	14,373	14,284	14,000	12,400	8,382	8,598

(県)新緊急間伐推進5ヶ年計画

(県)間伐推進加速化計画

(県)間伐推進加速化計画(改訂)

## 3. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,690
2	郡上市	92,456
3	下呂市	78,399
4	揖斐川町	73,443
5	中津川市	54,207

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	49,748
2	高山市	45,374
3	下呂市	33,336
4	中津川市	23,271
5	恵那市	20,803

民有林人工林蓄積 千m<sup>3</sup>

1	郡上市	15,816
2	高山市	11,940
3	下呂市	11,708
4	中津川市	6,621
5	揖斐川町	6,042

年間除間伐実施面積 ha

1	郡上市	1,656
2	高山市	1,110
3	恵那市	993
4	下呂市	752
5	関市	741

年間造林実施面積 ha

1	本巣市	31
2	高山市	27
3	郡上市	26
4	大垣市	19
5	関市	12

森林作業道等開設実績

1	高山市	73路線(44,834m)
2	下呂市	71路線(42,180m)
3	郡上市	54路線(21,483m)
4	東白川村	56路線(20,921m)
5	七宗町	22路線(11,629m)

林道路線数

1	高山市	275路線(598,001m)
2	郡上市	274路線(610,188m)
3	下呂市	212路線(520,055m)
4	中津川市	203路線(511,121m)
5	関市	137路線(238,580m)

森林技術者数

1	高山市	193人(29事業体)
2	郡上市	190人(21事業体)
3	下呂市	82人(16事業体)
4	中津川市	79人(12事業体)
5	飛騨市	61人(10事業体)

平成25年度版 岐阜県森林・林業統計書より